

6.9%成長で一旦景気底入れが確認できた中国経済

～ 高まる河北省「雄安新区」への期待～

王 雷軒

要旨

輸出の底入れが進んだほか、固定資産投資も拡大したことを受けて、2017年1～3月期の実質 GDP 成長率は前年比 6.9%と 10～12 月期(同 6.8%)から小幅ながら伸びが高まった。ただ先行きについては、成長率が 6.5%を割り込む可能性は低いが、不動産開発投資が伸び悩むと予想されることなどから、徐々にスローダウンする可能性が高い。

また、共産党指導部と国務院は4月1日に新華社を通じて「雄安新区」の設立決定を公表した。この雄安新区は、深セン経済特区(79年設立)、上海浦東新区(92年)に並ぶ国家級新区と位置づけられているため、大きな注目が集まった。

この新区は、地方政府が申請したものではなく、共産党指導部が主導したもので、北京から首都機能以外を引き受けるほか、ハイテク産業を中心にした産業誘致を行う予定である。中国経済に与える影響など、今後もこの新区の整備動向を注視する必要がある。

4月1日に「雄安新区」の設立決定を公表

4月1日、共産党指導部と国務院(内閣に相当)は、国営のメディアである新華社を通じて、新しい国家級新区である「雄安新区」(Xiong an xin qu)の設立決定を公表した。

国家級新区とは、都市の新市街で設けられた開発区のことである。創設には国務院の批准を必要とする。最初の国家級新区は92年に設立批准された上海浦東新区であった。何も無い地帯が、国際的な金融センターへの大変貌を成し遂げ、国家級新区が成功した象徴となった。

上海浦東新区以降、数多くの国家級新区が設立されてきたが、雄安新区の発表を受けて政策期待が高まり、中国の本土株式市場は大幅に上昇するなど、同区の設立に大きな注目が集まっている。

以下では、足元の景気動向や先行きを述べたうえで、この雄安新区の概要や注目を集めた背景などを紹介してみよう。

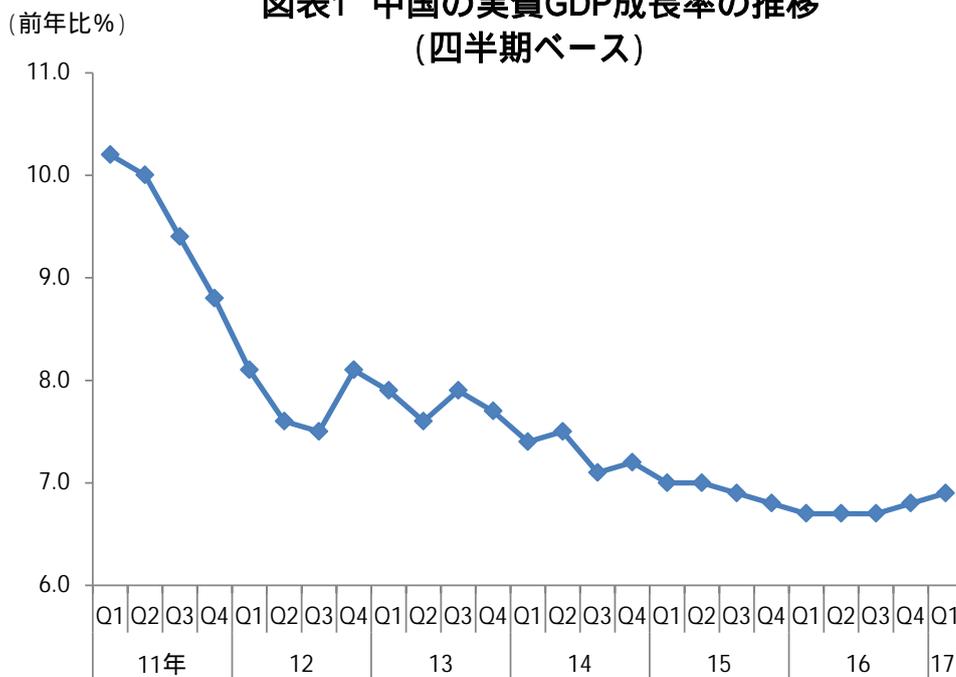
1～3月期の実質 GDP は前年比 6.9%

1～3月期の実質 GDP 成長率は前年比 6.9%と 10～12 月期(同 6.8%)から小幅ながら伸びが高まった(図表1)。世界経済の持ち直し基調が強まっており、輸出の底入れが進んだほか、固定資産投資の拡大も確認された。

17年の政府の成長目標は「6.5%前後」に設定されているものの、共産党指導部の大幅な刷新が見込まれる中国共産党第19回全国代

表大会（以下、19回党大会と略）の開催を今秋頃に控えるなか、「実際の経済活動への取組みによって良い結果を得よう努力する」ということもあり、1～3月期の実質GDP成長率は「6.5%前後」よりやや高めの成長率になったと考えられる。

**図表1 中国の実質GDP成長率の推移
(四半期ベース)**



(資料) 中国国家统计局、CEICデータより作成

先行きの成長率は小幅減速へ

足元の経済指標から、景気は持ち直しの状態にあるが、これは、あくまでも中期的な減速局面にある一時的な上昇であると思われる。当面、景気は底堅く推移すると思われるが、先行きの成長率については、住宅販売の鈍化に伴って不動産開発投資が伸び悩むほか、引き締め的な金融政策による影響、さらには個人消費を下支えしてきた自動車販売の反動減が残ると見られることから、徐々にスローダウンする可能性が高い。

さらに、朝鮮半島情勢の緊迫化するなか、地政学的リスクが高まっていることや米中間の貿易摩擦の激化も予想されるため、先行きは決して楽観視できず、むしろ下振れ圧力が意識されるものと思われる。

とはいえ、党大会を控えるなか、設立された雄安新区への公共投資を増やすなどといった景気下支え策が想定されるため、中国を取り巻く国際的な環境が大きく変化することがなければ、17年下期に成長率が6.5%を割り込む可能性は低いと見られる。

公表された雄安新区の概要

次に、大きな注目を集めた雄安新区についてみてみよう。この雄安新区は、河北省保定市にある雄県、容城県、安新県とその周辺地域で構成される。北京市から西南へ約 100 キロ、天津市から西へ約 100 キロに位置し、この北京市、天津市、新区を結ぶと正三角形になる（図表 2）。3 つの県にまたがっているが、ほとんどが小さな町や農地である。

新区の開発は段階的に進められ、まず初期段階として 100 平方キロメートルを整備し、その後の中期段階では 200 平方キロメートルへ拡大し、最終的には 2,000 平方キロメートルまで拡充する計画である。投資規模などの具体的な内容はまだ発表されていないが、新華社 4 月 1 日付の記事によれば、この国家級新区を「全国的な意義を持つ新区で、千年の大計、国家の大事」と位置づけており、内外に大きな注目が集まるようになった。

図表2 雄安新区の位置



中国には 19 の国家級新区

実は、中国では国家級新区が数多く存在する。92年に設立された上海浦東新区を皮切りに、06年に濱海新区（天津市）、10年～12年に両江新区（重慶市）、舟山群島新区（浙江省）、蘭州新区（甘肅省）、南沙新区（広州）という6つの国家級新区が批准さ

れ、14年には西咸新区（陝西省）、貴安新区（貴州省）、西海岸新区（山東省）、金普新区（遼寧省）、天府新区（四川省）の設立を受けて11の新区となった。

その後も、湘江新区（湖南省）、江北新区（江蘇省）、福州新区（福建省）、滇中新区（雲南省）、ハルビン新区（黒竜江省）、長春新区（吉林省）、贛江新区（江西省）が相次ぎ設立され、現時点では雄安新区（河北省）を加えると19新区にのぼる（図表3）。

図表3 中国の国家級新区の設立状況

名称	設立批准日	所在地	面積(平方キロメートル)
浦東新区	1992年10月11日	上海市	1,210
濱海新区	2006年5月26日	天津市	2,270
両江新区	2010年5月5日	重慶市	1,200
舟山群島新区	2011年6月30日	浙江省舟山	陸1,440、海20,800
蘭州新区	2012年8月20日	甘肅省蘭州	1,700
南沙新区	2012年9月6日	広州市	803
西咸新区	2014年1月6日	陝西省西安・咸陽	882
貴安新区	2014年1月6日	貴州省貴陽・安順	2,451
西海岸新区	2014年6月3日	山東省青島	陸2,096、海5,000
金普新区	2014年6月23日	遼寧省大連	2,299
天府新区	2014年10月2日	四川省成都・資陽・眉山	1,578
湘江新区	2015年4月8日	湖南省長沙	490
江北新区	2015年6月27日	江蘇省南京	2,451
福州新区	2015年8月30日	福建省福州	1,892
滇中新区	2015年9月7日	雲南省昆明	482
ハルビン新区	2015年12月16日	黒竜江省ハルビン	493
長春新区	2016年2月3日	吉林省長春	499
贛江新区	2016年6月14日	江西省南昌・九江	465
雄安新区	2017年4月1日	河北省保定(雄県・安新・容城)	2,000

(資料) 各種報道資料をもとに作成

雄安新区は、深せん経済特区、上海浦東新区に並ぶ国家級新区と位置づけられており、特別な存在

しかし、この雄安新区は、深せん経済特区（79年設立）、上海浦東新区（92年）と同等の国家級新区と位置づけられていることから、特別な国家級新区だと感じられる。

振り返ってみると、深せん経済特区は小さな漁村から「世界の工場」、国際大都市に成長、珠江デルタ経済圏（中国の南部）のエンジンになっており、中国が改革開放に転じたことの象徴となった。上海浦東新区も原野が広がる地から国際的な金融センター、「世界の市場」へ大変貌し、長江デルタ経済圏（中国の中部）のエンジンになっており、改革開放をさらに強める象徴となった。

北京市の大気汚染や発展の不均衡などの現実問題への解決を期待

雄安新区は共産党指導部が主導したもの

今後の整備計画

このように、珠江デルタ、長江デルタは経済成長のけん引役となっているが、北部にはこのような注目される国家級新区はこれまでなかった。中国は経済規模で世界第二位となったものの、経済の新常態に対応するためにも北部で新たなエンジンを作り出す必要があったのだと思われる。

また、北京市および天津市では経済成長とともに人口膨張、交通渋滞、水不足、大気汚染などの課題を抱えるようになった。加えて、周辺地域の経済成長が遅れており、北京市や天津市との格差も広がった。これらの問題を解消するため、新たに設立される国家級新区では、北京から首都機能以外を引き受けるほか、ハイテク産業を中心にした産業誘致を図ることが構想されている。実際、国家発展改革委員会によれば、この新区設立は人口が 2,100 万人を抱える巨大都市である北京市の過密化を緩和し、北京市、天津市、河北省を一体化させる発展計画（京津冀協同発展計画）の一環でもある。

雄安新区の公表までのアクションや協議の状況をみる（図表 4）と、雄安新区は、地方政府が申請したものではなく、共産党指導部が主導したものと言えよう。16 年 5 月 27 日に開催された中央政治局会議で、「北京都市副中心の建設計画および河北雄安新区の設立に関する研究状況の報告」が審議され、初めて「雄安新区」という名称が登場した。この名称が出る前の 14 年からその必要性は提起され、15 年 2 月から本格的に場所選択が行われ、党指導部による会議も多数開催されており、設立決定までに 2 年以上かかったと見られる。

さらに、新区建設の責任者には、天津市の新区開発のトップであった袁桐利が河北省の副省長として就いたほか、深セン市のトップの許勤を河北省党委副書記、省長代理に異動させる人事が決定されるなど、体制整備も図られた。今後のスケジュールについて、2020 年までの 3 年間で、主要な道路施設の建設を基本的に完成し、100 平方キロメートルの面積をもつ「スタート区」内のインフラ整備および産業構造の形成をほぼ完成し、一つの新たな都市としての機能をもつようにする、22 年までの 5 年間で「スタート区」のインフラ整備を全て完成し、新区の中心部（核心区）に関する建設を基本的に完了する、30 年までの 13 年間で緑色・低炭素都市、スマート化都市を目指し、居住地および産業立地としての適切な場所にする、というような計画が示されている。

図表4 「雄安新区」の設立決定までのアクションや協議の状況

2014年10月17日	習近平国家主席が「北京市・天津市・河北省の一体化発展構想に関する枠組み」への指示のなかで、北京市の外で新都市建設の必要性を提起。
2015年2月10日	習国家主席が中央財經領導小組の第9回会議で北京市の外で新たな都市をつくると言及。
2015年4月2日	習国家主席が共産党中央政治局常務委員会会議で河北省の適切な場所で現代的な都市を建設する必要があると強調。
2015年4月30日	習国家主席が共産党中央政治局会議で河北省の適切な場所で現代的な都市を建設する必要性を改めて強調。
2015年6月1日	「北京市・天津市・河北省の一体化発展計画綱要」が公表され、新区場所を選定する際には、習国家主席が深く研究し、科学的な論証することをしなければならないと述べる。
2016年2月28日	国務院が新区の場所選定に関する会議を開催。
2016年3月24日	習国家主席が主催した共産党中央政治局常務委員会会議で北京都市副中心および新区の場所選定の進捗状況を検討、新区の場所を確定し、「雄安新区」と命名。
2016年5月27日	共産党中央政治局会議で「北京都市副中心の建設計画および河北雄安新区の設立に関する研究状況の報告」が審議され、「雄安新区」という言葉が初めて登場。
2016年7月31日～8月6日	北京市・天津市・河北省の一体化発展の小組弁公室及び検討委員会が「雄安新区の創設に関する実施方案」を検討。
2017年2月23日	習国家主席が安新県を視察したうえで、現地で座談会を開催。
2017年4月1日	共産党指導部は「雄安新区」の設立決定を公表。

(資料)新華社4月1日、13日付記事等をもとに作成。

解決すべきな課題も多く、引き続き今後の動きを注視

この新区設立を受けて中国科学院、中国石油化工集团公司などの研究機関や国有企業がそれを支持、実際の行動に移すとの声明を発表した。一方、豊富な水資源に恵まれているとされているが、白洋淀という湖の水質は、Ⅲ類からⅣ類に改善したものの、生活飲用水レベルのⅢ類までの水質改善が必要である。大気汚染も深刻な場所であるため、保定市および河北省全体の協力も必要だ。さらに、北京の深刻な大気汚染の解決とともに、北部の開発促進を狙うものと理解できる一方、過剰投資により債務をさらにかさあげするリスクもある。果たして巨費を投じる雄安新区は何を生み出すのだろうか。今後もこの新区の動向を注視する必要がある。

(17.4.19 現在)